

第 8 表

	掘進長	ビット ライフ	ビット 使用量	ビット 回転数	荷 重	ポンプ 圧 力	振動
ロッドリユープ 使用	217.25 m	52.5 m	4 ケ	440 rpm	1,500 kg	18 kg/cm <sup>2</sup>	なし
〃 使用せず	382.75	25.5	15	400	2,000~ 3,000	21	あり

5. サンカット

同和鉱業株式会社柵原鉱業所でも 各種潤滑剤の試験研究を行ない 取り扱いの難易およびコストを考慮して日本グリース会社製のエマルジョン系水溶性切削油サンカットを使用して好結果を得ている。

サンカットの混合割合は3%で 乳化力がすぐれタンク内で3~4回攪拌するだけで十分である。 サンカットを使用した時の成績は第9表のとおりである。

第 9 表

	方当り 掘進長	ビット ライフ	掘 進 速 度	コア 語り長	ビット コスト	当り コスト	潤滑剤 コスト
清 水	4.17 m	21.80 m	cm/min 2~6	1.11 m	1122 円/m	5540 円/m	円
サンカット 添加量3%	5.16	32.00	4~10	1.28	772	4054	50

6. む す び

- 1) ボーリング用泥水として クローム泥水のほかに リポナイト泥水が石油掘さく部門において開発されており

これは耐熱性・泥化抑制にすぐれ 地熱ボーリングや深掘ボーリングに導入されるようになってくるだろう

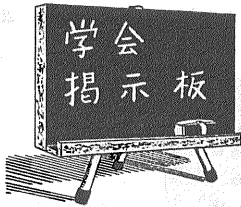
2) ボーリング泥水にマッドオイル(脂肪酸の硫化カリ石鹼および界面活性剤)を添加すると 泥水の潤滑性が増加し 泥壁とロッドの摩擦を減少させ スライムがロッドやビットにはりつくのを防止する またロッドが抑留された場合 これをロッドと孔壁の間に流し込むことによって事故を回復する このような働きをするマッドオイルを導入されつつある

3) 清水に各種潤滑剤 切削剤などを加えて ボーリング循環水として使用する方法はまだ開発途中にあり 対象岩石によってどの種類のものがよいか また水溶液がどのような働きを発揮するのか 詳しいことは明らかでなく 今後も調査研究されていくだろう

(筆者は技術部試験課)

7. 参 考 文 献

- 上野 幸作:石油の採掘 共立出版KK
- 藤井 清光:循環流体の処理法 理工図書
- 日本石炭協会:試験ハンドブック
- 中村小四郎:試験
- 沖野 文吉:掘鑿泥水の基礎と応用 白雲社
- 藤井 清光:基礎工における地盤の安定 理工図書
- 石油技術協会:石油鉱業便覧
- 沖野 文吉:ボーリング用泥水 技報堂
- 日本鉱業協会試験委員会報告
- 石油技術協会誌



・石炭科学国際会議

1. 昭和43年6月10日~日
2. 石炭化作用・熱分解・ガス化・石炭組織に関する講演会
3. Minins Institute of the Czechoslovakia, Academy of Science

my of Science

4. 石炭科学国際会議
5. Mining Insitute of the Czechoslovak Academy of Science, Praha.

・日本分光学会

1. 昭和43年3月30日(土)~4月1日(月)
2. 第15回応用物理学関係連合講演会
3. 東京工業大学(目黒区大岡山2-12-1)
4. 日本分光学会
5. 東京都新宿区百人町4-400 東京教育大学光学研究所内

日本分光学会 Tel 東京(03)362-7881

・日本第四紀学会

1. 昭和43年2月3日(土)~4日(日)
2. 1968年総会および研究発表会
3. 静岡大学教養部 C棟308室
4. 日本第四紀学会
5. 東京都文京区 東京大学理学部地理学教室  
日本第四紀学会 Tel 東京(03)812-2111

・日本鉱山地質学会・日本岩石鉱物鉱床学会

1. 昭和43年2月1日(木)~3日(土)
2. 日本鉱山地質学会第18回総会・日本岩石鉱物鉱床学会 昭和42年度総会ならびに連合学術講演会
3. 東北大学松下会館(仙台市川内)
4. 日本鉱山地質学会・日本岩石鉱物鉱床学会
5. 仙台市片平丁 東北大学理学部岩鉱教室(0222)23-5111

中央区銀座西8-2 日本鉱業会館内  
日本鉱山地質学会 (03)573-3997

- [注] 1. 開催年月日 2. 会合名 3. 会場  
4. 主催者 5. 連絡先(掲載順位は原稿到着順)